

「おカネの世界」から「いのちの世界」へ

福島県飯館村村長
菅野 典雄

- *時代の流れを読む
- *頭を柔らかく
- *自分さえよければでなく
- *「まideaライフ」のすすめ
- *まidea事業に知恵を絞る
- *心の循環をつくる
- *全村避難をどう乗り切るか
- *安心の糧を求めて
- *復興の原点
- *引き算の生活を



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は飯館村村長の菅野典雄さんにおいていただきました。この3カ月余、プライベートな時間はほとんどないのではと思われるぐらいご苦労なさっています。ご縁があり今日お会いいただけることになりました。今日はこれまでの村づくりの話も触れていただきます。

飯館村でつくった、この『まideaの力』という本を拜見して、中央の政治家には見られないようなすばらしい構想力で村を運営されてこられたことがよくわかりました。しかも村の人たち、小学生からお年寄りまで巻き込んで成果を上げてこられた、そのすばらしい村が原発の脅威により表現しようのないほどの厳しい状況に挙一挙になってしまいました。村人、村役場も含

め全村挙げて疎開しなければならなくなっています。

『まideaの力』は2500円で、ちょっと高いと思われるかもしれませんが、読了されたら5000円でも高くはないと思われるでしょう。とりあえず50冊入手しましたので、ぜひお買い求めいただきたい。それが村への義援金にもなるということです。それでは菅野さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

菅野 皆さんこんにちは。ご紹介いただきました福島県飯館村は、約6000人の村民が住んでいる純農村です。その飯館村が今回の原発事故で全村避難を強いられ、今その大方の避難が終わりつつあります。そのような村の村長を仰せつかっている菅野典雄です。